

めざす子ども像	心豊かでたくましい井原っ子の育成 かしこく（自ら考え表現する子） やさしく（思いやり共に育つ子） たくましく（力いっぱいやりぬく子）
学年・学期における探究課題	自分たちの住む地域と他国の食文化「食」「国際理解」
単元名	「みんなで行こう！ 井原の食べ物・着るもの紹介」（全70時間＝実施時期：5月～3月）
単元のねらい	国際交流を通して、井原町の食文化・衣文化のよさや、そこに携わっている人々の想いを理解し、相手を意識した表現方法を考察しながら、友達と力を合わせて課題解決に向かうことができるようにする。

		課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現
主な活動		①上海とオンラインでつながり、井原町のよさや他国との違いに興味をもつ。 ⑧上海と学校紹介をする中で、井原町の「衣」文化にも焦点をあてていこうとする。 ⑫井原の魅力を発信してみたが、なかなか栄えないことに課題をもつ。	②社会科：町探検の学習を通して、紹介したいことを見付ける。 ⑤井原町の「食」について、調べる。 ⑨井原町の「衣」について調べる。 ⑬地元の人から話を聞く。	③紹介したい「ひと」「こと」「もの」を考え、出し合う。 ⑥「井原町の食マップ」に何を載せるのか、どのように載せるのかについて考える。 ⑩表現方法について考える。	④インタビュー先へ交渉を行う。インタビュー内容を考える。 ⑦「井原町の食マップ」を作る。 ⑪上海とオンラインで交流する。振り返り、まとめる。
仕掛け・工夫	もの		②町探検を通して、井原町の名産物、特産物、昔から引き継がれているものに出会う。		
	ひと	①上海の日本人学校とオンラインでつながることで、そこで教師をしている〇〇先生や、児童と出会う。	②町探検を通して、井原町で働いている人々と出会う。 ⑤⑨井原町で「食」「衣」に関係して働いている人々に出会い、その思いを知る。		⑦「井原町の食マップ」を印刷し、上海日本人学校の児童に贈る。
	しごと （こと）			③長年続けている店や、井原町（日本）ならではの店について知る。	
	その他				
引き出した姿	いばら愛 （郷土愛と当事者性）		②井原町の「食」「衣」の多様さや、商店街の様子、よさに気付くことができる。	③井原町のよさを伝えるためには、どのようなものを紹介するのがよいのか、考えることができる。	⑪上海とそれぞれの「食」「衣」文化について交流することで、井原町の「食」「衣」のすばらしさや、多様さに気付くことができる。
	やり抜く力 （向上心と忍耐力）		⑤⑨担当チームを組み、井原町の「食」「衣」の魅力について伝えられるように、質問内容を考えることができる。	③自分たちでインタビューの交渉を行う。 ⑥⑩相手に伝わるための表現方法について話し合う。	
	まき込む力 （発信力と協働性）	①上海の日本人学校の児童と交流することで、井原町について、紹介したいという気持ちをもつことができる。			
アウトプットの工夫					

◆ **実際に関連付けた教科・領域、学校行事等**

国語科 「もっと知りたい友だちのこと」「仕事のくふう、見つけたよ」「はんで意見をまとめよう」「これがわたしのお気に入り」「わたしたちの学校じまん」
社会科 「わたしたちの住んでいるところ」「わたしたちのくらしとまちではたらく人々」
道徳 「アメリカから来たサラさん」「思いをこめて」 外国語「あいさつをして友だちになろう」

◆ **実際に連携・接続・交流した他学年、他校（園）種、外部団体等**

上海日本人学校
井原町商店街、井原町で食べ物に関わる店を開いている方

◆単元のねらい「国際交流を通して、井原町の食文化・衣文化のよさや、そこに携わっている人々の想いを理解し、相手を意識した表現方法を考察しながら、友達と力を合わせて課題解決に向かうことができるようにする。」



◆成果（○）・課題（△）・来年度に向けて（☆）

- 国語科・社会科・道徳と連携させながら学習を進めていった。特に、インタビューや資料のまとめ方、表現方法等は各教科の学習が活かされたものとなった。（カリキュラムマネジメント）
- △課題設定：子どもへ課題を落とし込む、導入の工夫を考えればよかった。
- △何のために比較したり、分類したりするのかを児童に意識できるような工夫を考えればよかった。
- △「○○さんはどう思う？」など、教師が価値付けながら子ども同士をつなぐ、発問のスキルアップが必要だと感じた。
- ☆正解・不正解がない問いかけをしたり、思考ツールを活用したりして、子どもの発言をしっかりと引き出し、活用した学習を進めていきたい。